

平成 31 年(2019 年) 1 月 17 日
政 策 会 議 資 料
地 域 教 育 部 文 化 財 保 護 課

旧西尾家住宅大規模修繕基金の設置について

旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)について、平成 31 年度(2019 年度)から 11 年をかけて耐震対策を含めた大規模修繕工事を計画しています。旧西尾家住宅保存の重要性を PR し、大規模修繕の財源に充てるために、「(仮称)旧西尾家住宅大規模修繕基金」を設置しようとするものです。

1 基金設置の背景

旧西尾家住宅は、主に明治 26 年(1893 年)から大正年間にかけて建築された近代和風建築で、建物等は国重要文化財に指定され、庭園は国の登録記念物となっています。これまで根本的な修理は行われておらず、平成 17 年(2005 年)に旧西尾家住宅として開館後も、軽微な毀損等については応急的な修繕を行ってきましたが、建物等に経年劣化が進行しています。

このような中、平成 28・29 年度(2016・2017 年度)に国庫補助事業として耐震基礎診断を行ったところ、多くの建物が大地震時(震度 6 強)に「倒壊の危険性あり」との結果が出ました。重要文化財の修理は管理団体である市の責務であるとともに、本市において貴重な重要文化財である旧西尾家住宅を将来にわたって保存していくために大規模修繕は必要です。

こうしたことを受け、平成 31 年度(2019 年度)から 11 年間かけて行うことを計画している大規模修繕工事には約 16 億円を見込んでいます。市が保存修理を行う場合、管理団体に指定されているため、工事費の 65%が国庫補助金の対象となり、市は約 6 億円程度を負担することが想定されます。

2 基金設置の趣旨

旧西尾家住宅はかけがえのない文化財であり、貴重な歴史遺産として保存していき、次世代に引き継いでいかねばならないものです。文化財の修理や保存処理は、高度な技術と地道な作業が必要であり、それを支えるには莫大な費用がかかります。貴重な文化財を次世代へと伝え、市内・市外在住の方を問わず、一人でも多くの方に御理解いただき、旧西尾家住宅に一層の愛着をもっていただくことを目的として寄附を募り、大規模修繕の財源に充てるために基金を設置するものです。

3 基金の財源

旧西尾家住宅大規模修繕に対する寄附金

4 基金の目標額

基金の目標額については、5 千万円を目安として寄附を募ります。

5 基金の活用

大規模修繕工事の主体となる主屋の工事予定に合わせて寄附金の積立てを行い、主屋の工事が終了する予定の平成37年度(2025年度)に一旦同年度の修繕に充当します。これ以降の積み立てた寄附金は、工事完了時に修繕に充当します。

6 基金のPRの方法

- (1)市の広報・ホームページ、市立博物館のホームページ等に掲載
- (2)ちらしの配布(A4版、3,000枚のチラシについて、市内施設の窓口に配布、市外の教育委員会・研究機関・博物館等に送付、必要に応じてポスターの作成も検討)
- (3)プロモーションビデオの公開(市内・市外の施設、市のホームページで公開)
- (4)公開日等で寄附金のPRを行う。
- (5)修繕作業工程の記録写真の公開等によるPR

7 寄附の集め方

現金(日本円)を旧西尾家住宅の窓口払いのほか、開館日数が少ないことから、吹田市立博物館や口座振替等の納付方法も検討します。また、寄附をいただいた方には、感謝の気持ちを表す方策についても検討します。

8 PRに必要な経費

平成31年度一般会計

【歳出予算】(款)教育費 (項)社会教育費 (目)文化財保護費 (節)委託料

プロモーションビデオ制作委託料 990,000円

9 今後の予定

平成31年2月定例会において、「(仮称)旧西尾家住宅大規模修繕基金」を吹田市積立基金条例に追加する条例改正案を提案する予定です。